

平成26年第2回豊能町地域公共交通会議議事概要

日 時：平成26年9月24日（水）午後2時30分から午後3時35分まで

場 所：豊能町立保健福祉センター

出席者：委員15名・事務局3名（ほか説明者2名）

（詳細は別紙「平成26年第2回豊能町地域公共交通会議出席者表」のとおり）

傍聴者：2名（ほか途中入室2名）

1. 開会

- ・午後2時30分に会長が開会し、過半数の委員出席による開催を確認した
- ・傍聴を承認した
- ・豊能町長より挨拶があった

2. 委員及び出席者紹介

- ・事務局より委員及び出席者の紹介があった

3. 《協議》道路運送法に基づく市町村運営有償運送（福祉輸送）登録更新について

- ・以下の事項について説明者より説明があった

- ①事業の目的・概要
- ②利用対象者
- ③運行車両
- ④運行内容、区域
- ⑤運行実績
- ⑥運行の必要性、利用者負担金の妥当性

- ・主な質疑、意見

[委員]対価は1人あたり1,192円の経費に対し、200円。おおむねタクシー運賃の1/2の設定なので問題は無いが、事業として継続できるのか、また、距離制にしないと不公平感が出る可能性があるのではないか。

（事務局）高齢者の外出支援事業という位置付け。他の高齢者事業として紙おむつの助成事業があるが、利用者は10%を負担してもらっている。「おでかけくん」は16%程度の負担なので、妥当と考える。

[委員]利用者は利用料金についてはとても喜んでいるが、ショッピングセンターや他の病院へ利用したいとの声がある。

[委員]福祉有償運送はタクシーも含めた公共交通の利用が困難な方を対象としたものであり、対象を広げるとタクシーと競合する。利用料金とあわせて考える必要がある。

[委員]今後高齢化が進む中で事業の重要性はますます高まるが、住民の認知度が低いよう

に感じる。

(事務局) 現在、ホームページでの案内をしており、また手帳交付時にサービスを説明しているが、今後はホームページに加え広報でもお知らせしたい。

・市町村運営有償運送（福祉輸送）の必要性、運送の範囲及び対価について全員異議なしにより合意した

4. 《報告》「豊能町地域公共交通基本構想」短期計画にかかる施策の実施状況について

- ・以下の事項について事務局より説明、報告があった
 - ①「豊能町地域公共交通基本構想」短期計画における施策について
 - ②交通結節点整備（ときわ台駅バリアフリー化及び周辺整備によるターミナル化）について
 - ③構想の代替手段等の実施（リレー便運行と東地区デマンドタクシーの改善について）

・主な質疑、意見

[委員]短期施策の実施時期は

(事務局) リレー便運行の協議もあるが、運行にかかる構造上の問題やそれに関係する経費支出の困難さが生じており、時期を明示できない。はやければ年内に実施したい。

[委員]利用促進策は実施するだけでなく効果評価が必要。評価に予算を掛けるのは難しいので、事業者も利用者数を出して行ってほしい。

[委員]ときわ台駅周辺整備が実現可能か疑問。

[委員]国の補助金が後押ししてくれるのでは。無理だからと言ってそのままにしておいてはいけない。土地の評価が下がり、町の税収も下がるという問題もある。最善に至るまでに、様々な方法で進めていくべき。

(事務局) これまでの国の補助は、実際の交付額は予算の関係もあり案内されている率よりも低いという事があったが、新しい制度は重点化されており、有利ということである

[委員]新しい制度は、対象事業費の起債が可能で、地方交付税措置もある

6 その他

- ・事務局より委員委嘱の更新について依頼があった

7 閉会

- (1) 町より挨拶があった
- (2) 午後3時35分に閉会した